

会員数(57.11現在)

逗子地区 141名

葉山地区 284名

大船地区 65名

合計 490名

# 碩心会月報

57.11月

第124号

発行 岸岳集  
根 編 村 愛 岳  
中 岩 崎 恵 岳

認可 日本詩吟学院 碩心会  
発行 神奈川 碩心会

## 吾が碩心会の発展を願って

唐木山支部 深川 東 泉

読む者により多少異なると思うが、当月報を手にして、まず私が最初に目にする箇所は、一頁目主上欄の会員数の去就である。過去一年半の経緯を辿ってみると、400名前後から40名で推移しており、微増ではあるが、吾が碩心会の漸新振りが伺えて、心強い限りである。手前味噌になるが、私の住む葉山地区の詩吟人口が、常時、全会員数の60%近くを占めていることは、大いに誇ってよいことだし、自画自賛している。もっとも戦後の駅弁マンモス大学が、数多の幼稚な学生を生んだように、世帯の大きさを誇示することは、聊か早計であり、危険ではな

いかとも憂慮する。そこには当然、吟者のものの順の向上が伴わなければならぬと信ずるからである。そうはいらぬものの、某政党の派閥が示すように、教の論理は、依然として現実の各分野で絶体的に君臨している。500名の大口乗せは、会長先生の切なる願望と聞くが、私共会員一同、吟術の研鑽と共に、この500名突破の宿願を遠からず達成したいものである。

碩心 詩吟への求道と、碩心会の躍進を念じながら、日本文化のふるさととも云うべき漢詩を、独り吟ずる秋の夜長は、私にとって亦格別に楽しいひとときでもある。

高校者の

### 受講と受審について (県本部主催)

(受講)

七・八段  
皆伝以上

とき・12月5日(日) 9時516時30分  
ところ・根岸小学校講堂(新大津下車)

とき・12月12日(日) 9時516時30分  
ところ・大津行政センター(大津下車)

(受審)

七・八段  
皆伝以上

一ニ  
カホ  
横  
横  
横

とき・58年2月20日(日) 9時516時30分  
ところ・平塚農業会館

とき・58年2月27日(日) 9時516時30分  
ところ・平塚農業会館

皆伝以上

とき・58年3月6日(日) 9時516時30分  
ところ・平塚農業会館

一部の方々に伝達したものと多少変わっており、ご了承の念のため

### 奥伝合格(正月一日付)

おめでとうございます

(御風) 立沢千世見 (栄風) 高橋 ぎよ  
(江風) 西田美知江 (松風) 角田 マツ  
(心風) 鈴木 淳志 (杉風) 加藤三子雄

### ●葉山地区吟道温習会

とき・11月28日(日) 九時半より  
とき・葉山町福祉会館

県本部主催

吟行会に

参加して



森田 暁岳

台風一過、秋晴れの十月十日、小田原より新幹線にまたまに乗りこんだ一行は、東窓より早くも新雪をひたたく富士の山に見とれつつ、名古屋でひかりにのりつき、目的地へとまっ

レぐらに進み、島に着きました。

駅前からバスで市街地を通ると、街はすっかり立直っているが、今から三十七年前の焼野原の光景がまのあたり想像される。

ピカドンと一瞬の間に焼野原

十余年後はまだに残る原爆傷痕

平和公園に着き、慰霊塔に参拝、原爆ドームをみ、平和記念資料館をみて、核兵器の廃絶するまで平和の灯を燃しつづけてほしいと心からノーマア広島を祈りました。

小休止の後再びバスで巖島神社に到着。海に映える社殿、大鳥居はまさに日本三景の一つと目を見はりました。夜は百三十年の由緒ある岩惣本店に宿泊、山海の珍味に舌つづみをつち、又余興にと夜は更けました。

第二日目、昨夜の疲れもとれ元気な一行は岩国に着く。錦川に架った錦帯橋は日本三奇橋の一つといわれる珍らしい橋です。天気も上々で一同大喜びで次のコース津和野に着く。山陽の小京都といわれる津和野は、史跡と鯉

と、和紙の町、堀割りに泳ぐ錦鯉は、泳ぐ宝石とか、町を走るSLは目を楽しませてくれ、貸自転車で町を廻る人達も楽しそう。森鴎外の墓所等を見て津和野をあとにし、その夜は萩のグランドホテルで磯の香たごよう近海の魚貝料理をいただき明日を楽し及に休む。

第三日目は萩市内の高杉晋作旧宅、木戸孝允旧宅、城下町跡、指月公園史料館、萩焼窯元を見学し、買物等して松陰神社に参拝、全買で松陰先生の詩を大合吟してから、松下村塾を見学、先生の偉大さに心打たれた。昼食をすませて一路秋芳洞へ。秋芳台の地下にある鐘乳洞は世界で三番目の大きさとこのとで奥行きが10kmもあり、見学するのにも一時間を要する見事なものでした。

予定の行程も終え、東洋一といわれる関門つり橋を渡り福岡空港に着く。一同お土産を買ひ込み、空路羽田に向い、楽しかった吟行会も無事に終ったことを喜びつつ、又来年ねと約束しながら無事に家につきました。

## 詩吟・詩舞の会盛會に終る

当文化祭も年毎に盛會となり、今年も228名参加のもとに行われ、全員が協力して今の運営もスムーズに行われ、148番という番数の進行を心配しておりましたが、予定通り終り、大盛會でした。役員の皆さんには特別お骨折りをかけ、ありがとうございました。

## まとめという事は大変

県大会の合吟コンクールに逗子チームが入賞されましたが、全国大会、県大会の合吟に出吟の皆様大変御苦労様でした。いざ自分が出吟の立場になるとそれなりの色々な苦労があると思います。ましてや十人まとめるとなる責任者の立場にしては尚一層の事と思ひます。全員の一致団結が如何に大事であるか、という勉強ではないでしょうか。

## ボケどめには……

愛 岳

九月は敬老の月ということで、テレビ、新聞等でレキリと老人問題の事が報じられる。私達もそろそろ人事とは思えず、関心を持つようになり、たまたまテレビで老人のボケを取り扱った二度童子の館というのをみました。その時、ゆるくくりとして精神科の医師の言った言葉がなせか私の胸に刻み込まれました。それはボケ止めの最良法は、前進的な気持ちで仕事、趣味などを持ちこたえて読み、書きをする事、特に書くという事は最良のボケ止めと強調された。そこで私は思った。私はこうして月報をはじめ書く事が多い。そしてでき上がった月報はお使はは自転車にのって……ではないが、廻れる範囲はなるべく自転車で配布する事にしている。物は考えようで月報の編集も私にとって頭と体の健康法とありがたく思わなくては……

迷子のく

### 記念写真々々い !!

去る六月十三日の45周年大会の折の記念写真  
眞は、支部毎に順次回覧して希望者は申込む  
事になってゐるのですが、いっこうに廻って  
きません。どこにどうしてゐるのやら、中心  
当りの方は至急お廻し下さい。

(電話番号訂正)

130 井上尚風 電話号 71-7432573-174325

(支部解散)

木の下支部

元町支部

(移籍)

215 矢島智山は元町より上山口へ移籍

223 森 泰山・阪本周山は木の下より堀内支部へ

(入会)

530 今山下新倉トメ (横須賀市秋谷五、二九三)

(電話) 〇四六八 一五八六

511 (二色区) 沼田光毅 (葉山町一色) 九二二

(電話) 〇四六八 一七六一六六五五

532 (銀詠) 角田照夫 (逗子市沼間二) 一三三

(電話) 〇四六八 一七〇七二二八

533 (下山口) 武江伊き (横須賀市秋谷) 二〇四

(電話) 〇四六八 一五八一八八三三

534 (ク) 福本カシ (横須賀市佐島五) 一八

(電話) 〇四六八 一七五六一四八二一

535 (ク) 諸川つる (電話) 〇四六八 一五八五五

536 (ク) 森ちよ子 (秋谷五) 三一三

(電話) 〇四六八 一五八一二二〇

537 (堀内) 池田喜一 (葉山町堀内) 〇九

(電話) 〇四六八 一七五三三五五二

538 (堀内) 高井環 (電話) 〇四六八 一七五三六〇七

539 (対馬) 矢嶋登日 (電話) 〇四六八 一四五四一三

540 (ク) 矢島美奈子 (電話) 〇四六八 一七五〇八六

(電話) 〇四六八 一七五〇八六

541 (堀内下)	鈴木利恵の葉山町一色	二、四九三
(電)〇四六八一七五	三九二ニ	
542 (シ)	鈴木 満	二、四九三
(電)〇四六八一七五	三九二ニ	
543 (堀内E)	三橋香織	堀内 一、八三九
(電)〇四六八一七五	三六二ニ	
544 (堀内D)	池田和子	七一五
(電)〇四六八一七五	一三八九	
(退) △△		
214 (元町)	天島 清山	242 (元町) 渡辺 貞山
243 (元町)	琴沼 大山	244 (シ) 佐々木睦山
245 (元町)	鈴木 岩山	246 (シ) 鈴木 恒山
256 (元町)	八坂 宝山	313 (木の下) 森 可泉
390 (木の下)	小峰 武	415 (シ) 鈴木 文子
419 (シ)	西川 弘子	444 (堀内F) 海老原基子
455 (横警)	内田 昭	453 (横警) 倉持 栄
461 (シ)	武井 章	463 (シ) 鈴木 勇幸
480 (シ)	石井 禎二	482 (シ) 加治屋幸男
492 (シ)	赤坂 光男	493 (シ) 佐藤 重二

どうぞよろしく……

秋も深まって参りました。皆様には吟道に御精進の事とお喜び申しあげます。この度広報副部長を仰せつかりました。果してお手伝の出来ませうかどうが大変とまどっております。先日の理事会で根岸会長も申されました。月報を発行してゐるのは我が碩心会だけと伺はました。今までは苦勞知らず、に読ませていただき色々得ることも多く、心の糧として参りましたが、今度はお手伝いの側から皆様に喜んでいただくだけです。努力して参りたいと思ますので御協力の程、よろしくお願ひ申しあげます。

広報副部長 岩崎恵岳

踏み減りレ宇治橋渡る秋の風  
天高レ洗ふ五指透く五十鈴川

新豆腐味はう夜々伊勢の旅  
潜る海女浮く海女若レ爽やかに  
秋晴れ浮びレ海女と瞳が会えり